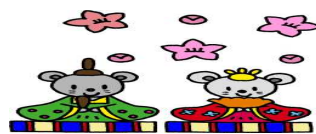


わらべ

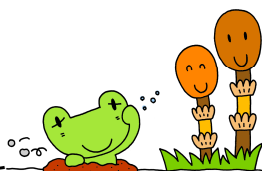


平成24年3月
気山保育所

今年度も、いよいよ残りひと月を切りました。3月になり、かりん組さんは小学校入学を前に、どんぐり、さくらんぼ、くるも・いちご組さんは進級を前に、それぞれこの1年間の成長を感じさせる姿を見せれています。これから暖かい日差しの中どんどん散歩に出て春を感じて胸を膨らませていきたいと思ひます。
この1年間お家の方に支えられ、助けられ、子ども達の成長に寄りそう事ができたこと、心から感謝しています。



- 1日(木) 白ご飯を持ってきてください(さくらんぼ、どんぐり、かりん)ごはんのいらない日ですが、金曜日と入れ替えさせていただきます
- 2日(金) ひな祭り会(ご飯はいりません)
- 3日(土) 入所説明会
- 8日(木) 交通安全教室(かりん組)
- 11日(日) 保護者会奉仕作業・年度末総会
- 15日(木) 避難訓練
- 19日(月) 身体測定
- 22日(木) お別れ会食(カツどん・かき玉汁・いちご)
- 23日(金) 修了式
- 29日(木) 保育終了(着替え・布団持ち帰り)



4月の予定

4月4日(水) 入所式10時～

みんなで新しく入ってくる子のお祝いをします。



進級児さんは1日保育が始まります。

持ち物 … タオル・コップ・おしぼり(いちご・くるみ・さくらんぼ組)
お弁当(ごはんだけ)いちご・くるみ組はいりません。
着替え・布団

お願い

- 3月30日(金) 希望保育(お弁当持ち)
- 4月2日(月)3日(火) 希望保育(お弁当持ち)
- 保育を希望される方は、9日までに申し込みください。
- かりん組さんは、スナップ写真代と一緒に修了記念写真代1000円を集金させていただきます。
- 29日は着替えを持ち帰りますので、大きい袋を持たせてください。

節分

かわりばんこに豆を炒りました。



1日体験入学

1年生のお店屋さんでお買い物をしたり、5年生と体育館で鬼ごっこなど遊んでもらい楽しみました。学校への期待が高まっています。



午か後のん活組動の



自由画帳に絵や字を書きます。



友達と、カルタもしました。

だるまさんがころんだ！



かごめ かごめ～



大きい子も小さい子も一緒になって楽しめます。そうやって遊びは引き継がれていくのでしょうか。

でつすら落としに必死



みて！
でっかいつらら



絵本を見ながら楽しいおしゃべり。

今年は雪や氷と沢山遊ぶことができました。



子育てアドバイス

ゲーム脳の恐怖

森 昭雄 氏

☆健全な脳を育てるために、今できること
ゲーム脳をほっておくわけにはいきません。それにはどうしたらよいのか。

①「スキンシップ」と「手をとって教えること」の大切さ
子どもの成長にはやさしい親のスキンシップがもっとも大事なのです。親とのスキンシップが欠けていることが脳に影響を与え、成長ホルモンを出さないようにしているのです。もちろん母親だけでなく人間どうしのふれあいが必要です。スキンシップは赤ちゃんの集団欲を満たす方法です。肌と肌とのふれあいが、仲間を感じるのです。

叱るときには、言葉で言うよりも、手をしっかり握って目を見て話したり、ほめるときには、頭をなでたり抱きしめてやりたいものです。照れ臭いなど思わずに、直接子どもの肌に触ってやってください。

スキンシップは、言葉で言うよりも心を開かせ、愛情を育てる効果がある。

幼児期は神経回路が組み上がってしまう大事なときです。この時期にはテレビゲームやビデオ、テレビを見せるよりも、お母さんが一緒に遊ぶことで、言葉や体の動かし方を教えてあげなければいけません。

子どもは、5～6歳ごろになると自己主張が強くなってきます。この自己主張を始める時期に、**子どもが自分で考え行動できるように導いてあげることが、脳を健やかに育てるためには重要**でしょう。

★テレビゲームをすることでは個性は生み出されません。まして幼児期にテレビゲームをさせておくのは、その子の個性や人間性がつくられないことになるのです。いきいきとした目の輝きのある、個性豊かな人間を育てるのは、大人の責任！

最近の子どもを取り巻く環境では、家にこもりきりになり、のびのびと運動する機会を妨げ、前頭葉の働きを押さえつけているようなところがある。目に見えない形で、前頭葉の働きが低下しています。すると人を殺してもリセットすればいいと、生命をなんとも思わなくなるでしょう。思考力や自制心がなく、ただ、動物的な本能だけになってしまいます。

教育や遊びの根本は、子どもの創造力を養い、多くの体験をさせ、「創造力の喜び」を体感させることに結びついていなくてはならないと思います。

人間の生きがいは・・・

なにかが達成できたときの喜びの体感にある。

五感を鍛えるイキイキ体験を

五感をフル活用した遊びが望ましい



肌でいろいろなことを感じ、裸足で土のぬくもりや芝の感触を感じるような経験が必要。また、海でオゾンの香り、野山で緑の香りをかぎ分け、波の音や虫の声を聴くことなども大切。味覚にしても同じです。

心の発達 = じつは、脳の発達

自然と、仲間と、親とふれあうことで発達していくのです。

